



NPO PTPL “ともいき” 便り No.75

平成 27 年（2015 年）5 月 6 日発行

■立夏（りっか） 5 月 6 日から 5 月 20 日までの節気

「立夏」の節気に入りました。例年は 5 月 5 日からですが、今年は 5 月 6 日から節気に入ります。夏日といわれるほど気温の高い日もありますが、湿度が低いのでとてもさわやかな時季です。ゴールデンウィークも終わり、九州では麦が穂を出し、北海道では馬鈴薯や豆の種まきが始まります。蛙が鳴き出すのもこの頃からです。青葉若葉が太陽の光にきらきらかがやく、五月晴れのうれしいころです。佐佐木信綱作詞の文部省唱歌「夏は来ぬ」には「うの花のにはほふ垣根に 時鳥(ほととぎす) 早もきなきて 忍音(しのびね) もらす 夏は来ぬ」と歌われて、日本人には懐かしい季感の一つです。

この節気期間中の 5 月 10 日(日)は「母の日」です。5 月の第 2 日曜日を母の日とし、日ごろの母親の苦勞をいたわり、母の恩に感謝する日です。

「母の日」が生まれた由来は 1907 年(明治 40 年)5 月 9 日の日曜日、米国・ウェストバージニア州のメソジスト教会で、亡くなったミス・ジャービスという女性の追悼式が行われました。教会には白いカーネーションがいっぱい飾られ、参列者たちはジャービスの娘で、当時 43 歳だったアンナ・ジャービスから「お母さまに感謝してください」と白いカーネーションが一本一本配られました。アンナも母の追悼式で、何か母親への感謝を型で表すことはできないかと考え、カーネーションを贈ることを思いついたのだといわれています。1908 年の 5 月 10 日（ちょうど 5 月の第二日曜日でした）に式典を行い、やがて全国的な記念日となっていきました。これが当時の大統領ウイルソンを動かし、1914 年(大正 3 年)5 月の第 2 日曜日を「母の日」とすることを提案、連邦議会の議決により祝日として決まったそうです。

※詳しくは「ともいき暦」(<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2015/>) 5 月 20 日をクリックしてください。

さて、皆さんは「母の日」には何をプレゼントされますか？

立夏の節気期間中、東西で伝統のある祭りが開催されます。

東では、東京に夏の訪れを告げる祭りとして5月の第3日曜日を最終とする3日間(2015年度は5月15日、16日、17日)、浅草神社の祭礼として「浅草三社祭」が開催されます。この祭りは神田祭り、山王祭と並んで東京三大祭のひとつと呼ばれています。歴史は古く、正和元年(1312)から三社の神話に基づき船祭が始められたと云われています。浅草神社は浅草寺の総鎮守で、有名な観音様を拾い上げたという檜前浜成(ひのくまのはまなり)、竹成(たけなり)の兄弟、土師真仲知(はじのまつち)を祀るところから、三社明神とも呼ばれています。それらにちなんで、祭礼には三基の大神輿が奉じられ、大変な賑わいを見せるようです。

一方、西では、5月15日、京都市北区の上賀茂神社と左京区の下鴨神社の祭礼とし「葵祭」が開催されます。この祭りの歴史はさらに古く、6世紀後半、飢餓、疫病の流行と風水害を鎮めるための祭礼が起源と言われています。京都の祇園祭り(7月1日から始まる)、時代祭り(10月22日)とともに京都三大祭のひとつです。祭り当日は絢爛たる衣装調度で総勢500名ほどの行列が仕立てられ、王朝絵巻さながらの行列が古式ゆかしく8キロメートルの道のりを練り歩きます。京都まではいかれませんが、浅草の賑わいを見に出かけようと思っています。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

●5月6日(水)、立夏。連休最終日。

朝、家の近くを散歩。芽吹いた木々が、日に日に葉を広げ、柔らかな新緑の茂りが太陽の光に照らされて、木々に生命が満ち満ちています。躍動する生命。見ているだけで私も元気になってきます。まだまだ湿気も少なく、さわやかな朝です。

●「ともいき暦」とともに生活しているうちに、太陽・月・生きもの、そして自然とのかかわりを広く、深く学び、身の回りの自然を注意深く観察鑑賞するようになります。五感が自然に活動を始めます。「人間は自然の一部である。」と

いうことを、毎年毎年繰り返し感じ取っていくことにより、それがとても重要なことであることを実感していくのです。

細やかな季節の兆しや気配を感じるということは、いわば太陽と月の動きを普段の生活の中で身近に感じながら生きるということ。天体の動きは、すなわち宇宙の動き、大いなるものを日常感じつつ生きる喜びです。

「ともいき暦」を身近に感じる暮らしとは、そういうものだと思感することができるでしょう。

●都心で生活していると多少、無理があるとはいえ、私は五感で精一杯、自然を感じ、自然の中で季節の移ろいを感じて、暮らしたいと願っています。今日は風が強く吹いた、湿度がいつもより高かった、今年はサクラの散るのが早かった、ジャスミンがとても良い香り、今夜は満月、月光が素晴らしいだとか……。テレビのニュースが伝えるからではなく、常に自分自身で感じられる状態でいたいと努めています。

●「ともいき暦」は、「人間は自然の一部である」、「人間と自然の豊かなコミュニケーション」の大切さを実感させてくれるだけでなく、日本の伝統、日本の生活習慣、日本の信仰など「日本的なるもの」について十分に、総合的に学べます。日本人であるということから、かけ離れてしまった日本人が多い昨今、「ともいき暦」に親しむことにより日本を、日本人をもう一度、力強く取り戻そうではありませんか。

「ともいき暦」は日本を、日本人を力強く取り戻すための道しるべであり、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」、ジャパネスクの道しるべです。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●好評の定点観測シリーズに「盆栽」の2作品がアップしました。

タイトルは「ヤマザクラ」と「カリン」です。「ヤマザクラの一年・二十四節気」は「ソメイヨシノ」と異なり、葉と花が同時に咲くのにご注目ください。

また、「カリンの一年・二十四節気」は果実をひとつだけ残しました。大きくなっていく変化と紅葉をお楽しみください。

ヤマザクラ：<http://www.tomoiki.tv/24/teiten/t24bonsaiyamazakura.html>

カリン：<http://www.tomoiki.tv/24/teiten/t24bonsaikarin.html>

●「ジャパネスク運動」の考え方、在り方に興味、関心がおありのお知り合い
またはお勤めの企業がございましたらご一報ください。ご説明に伺います。
そのためにも、是非とも、「ジャパネスク」のサイトをご覧ください、広く
喧伝していただければ幸甚です。

「ジャパネスク」のサイトアドレスは <http://japanesque.tokyo/>です。内容
は順次広く深くしていく予定です。

●会員募集のご案内

NPO活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠
です。

NPO PTPLでは、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお
読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。
詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp